

地域におけるICTを活用した情報共有の取組促進について

現状・課題

○地域によって利用している多職種連携システムが異なっているため、担当患者の地域によって複数システムを利用する場合があります、業務が煩雑となっている

多職種連携タイムライン（仮称）の活用

○システムを導入したものの登録患者数が伸びないなど、ICTを活用した情報共有の取組が進んでいない地域がある

《 論点① 》
 ・医療介護関係者の多職種連携システムへの参加促進
 ・多職種連携システムへの登録患者数の増加

○病院と地域の医療・介護関係者間の情報共有の充実が求められている

《 論点② 》
 ・病院との連携の充実

＜参考＞ 地域における多職種連携システムの利用患者数

○利用患者数
 （地区医師会数ごと）

	～100人	101～300人	301～500人	501人～
平成26年度	11地区	3地区	0地区	0地区
平成27年度	24地区	5地区	0地区	1地区
平成28年度	31地区	4地区	1地区	1地区
平成29年度	26地区	6地区	1地区	3地区

（出典）多職種連携ネットワーク構築実績